



## 中四国ブロックのHIV医療体制の整備に関する研究

研究分担者： 木村 昭郎

広島大学病院血液内科 教授

### 研究要旨

医療体制整備の中で人を育てることは最も大切である。HIV感染症の医療体制整備研究班の中国四国ブロック、あるいは広島大学病院がこれまでに実施してきた、職種別のエイズ研修会の参加者数を、県別、施設別で集計した。これらの研修会は多くの院外の講師やスタッフの協力を得て開催することができた。研修の参加者は実人数で合計736人であった。当ブロックのHIVチーム医療を築く上で貢献していると思われた。

#### [1] 医師を対象とした研修会

医師向けの研修会は、広島大学病院のエイズ診療従事者研修制度(平成13年)に基づき、卒後臨床研修センターの協力を得て実施している。平成18年の準備会を皮切りに合計4回実施した。看護師研修会と同様、比較的若手の医師を対象に、少人数でしっかりした講義と、全員が討議に参加できるようにして、HIV診療にある程度の自信が持てるようにしたいと考えて企画している。個別のプログラムは年次の報告書に記載した。

合計4回の研修会では、8県の18施設から37人の参加者であった【表1】。参加者の所属は血液内科13人、呼吸器内科7人、総合診療科3人、一般内科3人、その他消化器内科、神経内科、皮膚科、膠原病内科、産婦人科、歯科口腔外科などであった。主催者の広島大学病院のスタッフは13人であった。院外講師は井戸田一朗、上平朝子、照屋勝治、今村顕史、松下修三、渡邊 大、内野悌司、大下由美、品川由佳の各先生方であった。

表1 医師研修会の参加施設と人数

県	所属施設	参加数
愛媛	愛媛県立中央病院	1
	愛媛大学医学部附属病院	1
岡山	岡山済生会総合病院	1
	川崎医科大学附属病院	2
	倉敷中央病院	1
	津山中央病院	2
広島	県立広島病院	3
	広島市立広島市民病院	2
	広島大学病院	9
	国立病院機構呉医療センター	2
香川	香川県立中央病院	1
	香川大学医学部附属病院	1
高知	高知大学医学部附属病院	3
山口	山口大学医学部附属病院	1
鳥取	鳥取県立中央病院	1
	鳥取大学医学部附属病院	2
島根	松江赤十字病院	1
	島根大学医学部附属病院	3

## [2] 看護師を対象とした研修会

看護師研修会は医師研修と同様、広島大学病院のエイズ診療従事者研修制度を利用している。年に2回の新人コース(合計18回)と、1回のアドバンスコース(合計5)からなり、実人数として45の医療機関から191人の参加者であった【表2】。なお申し込みは累計242人であったが、人数の制限でお断りした方がある。

看護師のための研修会は看護師が企画から運営まで全部行う。運営のスタッフは実人数で56人、県立広島病院8人、広島市立広島市民病院10人、広島大学病院26人である。院外講師としては県立広島大学、広島大学大学院教育学研究科、日本赤十字広島看護大学、滋賀大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院、高知大学医学部附属病院、山口大学医学部附属病院、山口大学大学院医学系研究科、国立国際医療センター戸山病院、国立病院機構大阪医療センター、国立病院機構九州医療センター、大阪市立総合医療センター、港町診療所から来て頂いた。

## [3] 薬剤師を対象とした研修会

薬剤師研修会は、厚生労働省HIV感染症の医療体制の整備研究班の研究事業として始まった。中四国ブロックの分担研究で最も長い実績がある。当ブロックには拠点病院が60施設あるため、30施設ずつに分けて毎年2回実施している。合計24回の参加実人数は477人であるが、リピーターも多く24回で累計すると678人である【表3】。参加施設も中四国域内の61施設から425人、域外から23施設52人(いずれも実人数)が参加した。企画運営も薬剤師が中心となり、広島大学病院以外から24人の薬剤師にスタッフになっていただいた。

医療講演を担当した医師は、高田 昇、日笠 聡、山本政弘、山元泰之、内海 眞、白阪琢磨、西田恭治、安岡 彰、小田原隆、中村哲也、今村顕史、立川夏夫、藤井 毅、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一、湯永博之、健山正男、天野景裕そして薬剤師として栗原 健の各先生方であった。各研修会には実際に抗HIV薬を服薬している患者さんの話が毎回セットされ、研修の中でもコメントをして頂いた。

表2 看護師研修会の参加施設と人数

県	所属施設	人	県合計	県	所属施設	人	県合計
鳥取	国立病院機構米子医療センター	3	13	香川	香川県立中央病院	2	22
	鳥取県立中央病院	5			香川大学医学部附属病院	6	
	鳥取大学医学部附属病院	5			国立病院機構香川小児病院	3	
島根	松江赤十字病院	3	国立病院機構善通寺病院		6		
	島根大学医学部附属病院	7	三豊総合病院		5		
山口	関門医療センター	1	13	高知	高知医療センター	3	13
	国立病院機構岩国医療センター	2			高知県立幡多けんみん病院	3	
	山口県立総合医療センター	2			高知大学医学部附属病院	6	
山口大学医学部附属病院	8	国立病院機構高知病院	1				
岡山	岡山済生会総合病院	2	26	徳島	徳島県立中央病院	2	9
	岡山赤十字病院	2			徳島大学病院	7	
	岡山大学病院	3		愛媛	愛媛県立三島病院	1	20
	岡山労災病院	1			愛媛県立新居浜病院	1	
	国立病院機構岡山医療センター	5			愛媛県立中央病院	3	
	国立病院機構南岡山医療センター	2			愛媛大学医学部附属病院	5	
	倉敷中央病院	3			愛媛労災病院	1	
	川崎医科大学附属川崎病院	4			国立病院機構愛媛病院	1	
	川崎医科大学附属病院	3			市立宇和島病院	1	
津山中央病院	1	十全総合病院	1				
広島	県立広島病院	16	65	松山記念病院	1	5	
	広島市立広島市民病院	15		松山赤十字病院	5		
	広島大学病院	21					
	国立病院機構呉医療センター	8					
	国立病院機構福山医療センター	5					

[4] 医療ソーシャルワーカーを対象とした研修会

医療ソーシャルワーカー(MSW)の研修会も、本研究班の研究事業の支援を受けて実施されている。MSWは患者サービスに必須の職種であるが、配置された医療施設は少なく、また数人以下であり、外部での研修の機会が多いとは言えない。このため本

研究班では会議と研修をかねた1泊2日の集まりを、平成18年度から4年連続で実施している。

【表4】に示したように合計4回の研修に、26施設から31人のMSWが累計48回出席した。4回出席した人が2人いた。会議と研修を兼ねて1泊2日という日程が参加しやすい人と、参加しにくい人という事

表3 薬剤師研修会の参加施設と人数

	所属施設名	人数	合計		所属施設名	人数	合計
鳥取	鳥取県立中央病院	9	13	愛媛	愛媛県立伊予三島病院	2	86
	鳥取大学医学部附属病院	4			愛媛県立今治病院	2	
島根	益田赤十字病院	12	40		愛媛県立新居浜病院	4	
	国立病院機構浜田医療センター	3			愛媛県立中央病院	9	
	松江赤十字病院	5			愛媛県立南宇和病院	1	
	島根県立中央病院	9			愛媛大学医学部附属病院	15	
	島根大学医学部附属病院	11			愛媛労災病院	4	
岡山	岡山済生会総合病院	5	79		宇和島社会保険病院	2	
	岡山赤十字病院	18			公立周桑病院	1	
	岡山大学病院	7			国立病院機構愛媛病院	4	
	岡山労災病院	2			済生会西条病院	7	
	国立病院機構岡山医療センター	14			市立宇和島病院	6	
	国立病院機構南岡山医療センター	7			市立大洲病院	1	
	川崎医科大学附属川崎病院	2			住友別子病院	9	
	川崎医科大学附属病院	6			松山記念病院	5	
広島	倉敷中央病院	14	72		松山赤十字病院	11	
	津山中央病院	4		西条中央病院	1		
	県立広島病院	11		積善会附属十全総合病院	2		
	広島市立広島市民病院	15		沖縄	沖縄県立中部病院	2	
	広島大学病院	3		沖縄県立南部医療センター	1		
	国立病院機構呉医療センター	20		熊本	熊本大学医学部附属病院	1	
	国立病院機構福山医療センター	15		福岡	国立病院機構九州医療センター	3	
山口	緑風会薬局	8	44	兵庫	神戸大学医学部附属病院	1	
	国立病院機構関門医療センター	9		兵庫医科大学病院	1		
	国立病院機構岩国医療センター	1		大阪	北野病院	1	
	国立病院機構山口宇部医療センター	5		国立病院機構大阪医療センター	2		
	山口県立総合医療センター	12		市立堺市民病院	1		
香川	山口大学医学部附属病院	17	32	大阪	大阪市立総合医療センター	1	
	香川県立中央病院	4		愛知	国立長寿医療センター	1	
	香川大学医学部附属病院	3		国立病院機構名古屋医療センター	16		
	高松赤十字病院	1		岐阜	岐阜大学医学部附属病院	1	
	国立病院機構香川小児病院	4		石川	石川県立高松病院	1	
	国立病院機構善通寺病院	6		石川	石川県立中央病院	1	
高知	三豊総合病院	14	35	神奈川	横浜市立市民病院	1	
	高知医療センター	6		厚木市立病院	1		
	高知県立安芸病院	6		東京	東京医科大学病院	5	
	高知県立中央病院	8		東京大学医科学研究所附属病院	2		
	高知県立幡多けんみん病院	4		東京都立駒込病院	4		
	高知大学医学部附属病院	5		宮城	国立病院機構仙台医療センター	2	
	高知中央病院	1		北海道	札幌医科大学附属病院	2	
徳島	国立病院機構高知病院	5	24	北海道	北海道大学病院	1	
	徳島県立中央病院	20					
	徳島大学病院	4					

情もあると思われる。この会を講師は、高田 昇、山本博之、小西加穂留、高田清式、高木敏之、榎本てる子、山野尚美、福田倫明、辻麻理子の諸氏であった。スタッフとして支えた人は16人であった。

#### [5] 他の職種との連携の研修会

中国四国地方には心理士・ソーシャルワーカー向けの研修会と、中核拠点病院の医師・看護師・薬剤師・心理士・ソーシャルワーカーをセットにした包括カウンセリング研修会が行われている。いずれも広島県が広島県臨床心理士会に委託している事業となっている。医師の研修会に看護師が加わり、看護師や薬剤師の研修会に心理士が加わるなど、異業種のスタッフが加わることも、チームの連携を体感することができ、各医療機関でのチーム作りに貢献できると思われた。

[研究協力者：高田 昇]

表4 MSW会議・研修会の参加施設と人数

	所属施設	回数
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	2
	松山記念病院	1
岡山	岡山赤十字病院	1
	岡山労災病院	1
	川崎医科大学附属病院	2
	津山中央病院	1
広島	県立広島病院	2
	広島市立広島市民病院	1
	国立病院機構呉医療センター	2
	国立病院機構福山医療センター	3
香川	香川県立中央病院	2
	香川大学医学部附属病院	2
	高松赤十字病院	2
	国立病院機構善通寺病院	1
	三豊総合病院	1
高知	高知医療センター	1
	高知大学医学部附属病院	3
	国立病院機構高知病院	1
山口	国立病院機構関門医療センター	3
	国立病院機構山口宇部医療センター	3
	山口大学医学部附属病院	4
鳥取	鳥取県立中央病院	1
	益田赤十字病院	1
島根	松江赤十字病院	1
	島根大学医学部附属病院	2
徳島	徳島大学病院	4